

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 分科会 活動計画書

令和7年度 新規・継続（年度～）

分科会名称	「ネイチャーポジティブ推進」分科会
分科会提案会員	埼玉県（環境部 みどり自然課）
分科会長	埼玉県 環境部 みどり自然課長
目 的	生物多様性の損失を止め回復させるためには、行政だけでは達成困難であり、多様な主体の活動が不可欠である。ネイチャーポジティブの実現を図るため、企業、市町村、団体等の多様な主体による生態系や希少種などの保全・回復を目指す取組を促進する。
解決すべき課題	COP15（R4）においてネイチャーポジティブの実現が世界目標とされ、これを受け、国はR5に生物多様性国家戦略 2023-2030 を策定した。国家戦略では、行政・企業・地域住民等の多様な主体間の連携・協働が求められている。 しかしながら、経団連調査（R5）では企業社員層のネイチャーポジティブの認知度は6.5%と浸透していない。 また、市町村においても生物多様性の損失を進める「外来生物」の被害防止などに取り組んでいるが、十分な財源が確保できず、ネイチャーポジティブ実現に向けた戦略的な展開には至っていない。   
活動内容	企業向けセミナーや市町村・環境保全団体等との交流の機会を創出し、企業のネイチャーポジティブ実現に向けた取組の場やビジネス展開の場を提供する。
期待される成果	ネイチャーポジティブの実現に向け、行政・企業・県民の取組が広く展開されている。